

牧師所感：

John F. Kennedy の演説
— 1961 年 1 月 20 日の就任 —

昨今、世界の話題になっているのは、アメリカの大統領選挙の話題であろう。アメリカ大統領の任期が話題になる前は、世界の関心は ロシアとウクライナの、イスラエルとハマス（アラブ）の戦争の話で持ち切りだった。

ところが 日々が経ち、アメリカ大統領の選挙が近付いてくると、世界の話題は突如、アメリカ大統領選挙に替えられた。何と 気の早い人々の関心であろうか。

筆者は毎日 個人の祈りと、主日の礼拝の時の 祈りの時間には、ロシアとウクライナ、イスラエルとハマスの戦争が一日も早く終結するようにと、主なる神様に 真剣に祈る。罪のない子どもたち、軍人以外の 無垢な人々の犠牲は、一日も早く 終わらせなければならない。

さて、ふとしたことで、アメリカ歴代大統領の 治世の歴史を 読みたくなった。

『世界を変えた 25 人の演説』集を ^{ひもと} 繙いた。25 人の 世界を変えた人士の中で、アメリカの 35 代大統領であった ジョン・F・Kennedy の演説を開いた。

Ask not what your country can do for you ;
祖国が 皆さんの為 に何をするかを 聞くのではなく、

ask what you can do for your country.
皆さんが 祖国の為に 何をすべきか を 自問して下さい。

筆者は この演説を読む瞬間、雷に打たれたような自身を発見した。

私は牧師だ。牧会開始以来、このような精神で祈って来たかを自問した。

「神よ！ 私は 今まで 長い牧会生活の間、常に 神様から戴くばかりの祈りをして参りました。申し訳ございません。主なる神よ、貴方様はその都度、利己的な祈りも聞いて下さいました。今は 大いに恥じています。余生 幾ばくもありませんが、貴方様の為に何が出来るかを考え、余生を送る所存でございます。」

とりわけ、故 John F. Kennedy の問いが アメリカ次期大統領に 継承されますように。と祈る！！